

神宮大麻と秋葉神社神札の注文について

例年通り、各ご家庭に「神宮大麻」と「秋葉神社神札」のご希望を各町内会の回覧版（注文票）で、おうかがいいたします。

ご注文頂いたご家庭には12月7日以降に、各町内会を通じて頒布（配付）されます。

なお、ご注文を忘れた場合は、常時「白山神社社務所」にてご購入していただくこともできます。

《なぜお正月に交換するのか？》

お正月に神棚の御札（おふだ）を交換するのは、単なる習慣ではなく、深い意味と日本人の精神性が込められています。

●新しい年に新しい神様の力を迎えるため

御札は神様の魂を分けていただいたものとされており、時間が経つとその力が徐々に弱まると考えられています。

新年はすべてを新しくする節目。新しい御札を迎えることで、みずみずしい生命力やご加護をいただくという意味があります。

●清浄を重んじる神道の考え方

神様は「清浄」を大切にされる存在。年末の大掃除と同様に、神棚も清めて新しい御札を祀ることで、清らかな状態で新年を迎えることができます。

●日本人の「リセット」文化との親和性

大晦日から元旦にかけての切り替えを重視する日本人の心性に根ざした習慣。新年に目標を立てたり、気持ちを新たにすると同じように、神棚も新しくすることで心機一転を図ります。

《交換しないとどうなる？》

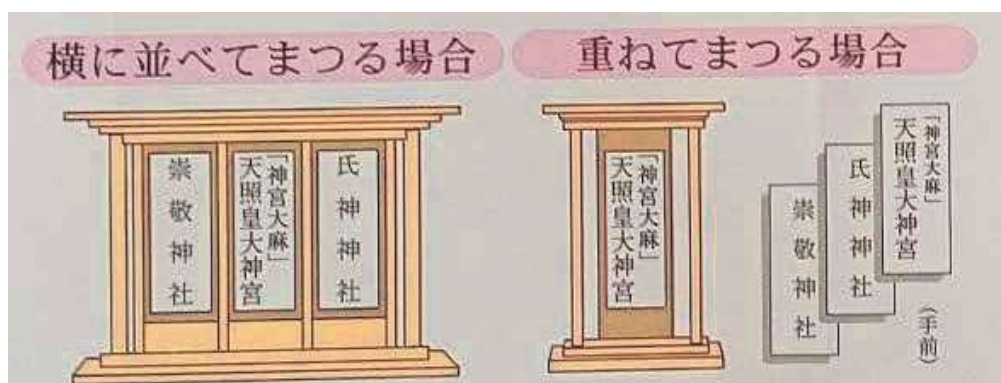
交換しないこと自体に罰はありませんが、神様の力が弱まるとされるため、より強いご加護を望むなら交換が推奨されます。ただし、信仰の形は人それぞれ。心を込めて祀ることが何より大切です。

《古い御札の扱い方》

年末や初詣の際に、神社の「納札箱」に納めるのが一般的です。

「大富白山神社」では大晦日に「篝火焚き上げ神事」を行いますので、年越しの参拝や初詣の折に篝火にて焚き上げをしてください。

《神棚へ神札をまつ際の並べ方》



ご自宅に神棚がないご家庭は、タンスの上などに白い紙をひいて置いておくこともできます。